

KOMAZAWA 3 × 1 OSAKA TAIKU

駒澤大学3 × 1 大阪体育大学

がむしゃらに動き回りチームの勝利に貢献した中嶋
(撮影・野澤俊介)



中嶋2得点の活躍 逆転勝利で1回戦突破!!

栄光リセット!もう一度『チャレンジャー精神』で

うだるような暑さのなか始まった第28回総理大臣杯。一昨年、昨年と総理大臣杯連覇を果たしている駒大は今大会で優勝すれば三連覇という前人未踏の快挙を達成することになる。しかし選手たちは「今まで優勝していることは忘れて、もう一回初心に戻って、チャレンジャー精神で自分たちのサッカーをしよう」(鈴木祐)と気持ち新たに「大学3冠」をかけた戦いに臨んだ。

開始2分、その意気込みとは裏腹に大体大に失点を喫し、出鼻をくじかれる。しかし選手たちに焦りはなかった。「失点で落ち込むというよりも、気持ちをきりかえていこうと思った」(中嶋)という駒大イレブンはそのから徐々に試合の主導権を握り始める。そして26分、赤嶺からヘディングでパスを受けた中嶋が右足で押し込み同点に追いつく。さらには37分にはまたも中嶋が頭で押し込み、逆転に成功。

「ハーフタイムに次の1点が勝負だと言っていた」(太)。いい形で前半を終えた駒大は相手を突き放す決定的な3点目を奪取すべく、後半に臨んだ。しかし、スロースターターである駒大は後半の立ち上がりもなかなか思うような試合運びができない。そんな時間が続く中、DF陣が堅守で踏ん張りを見せる。その奮闘に応えるかのように72分、赤嶺の得点が生まれた。ダメ押し3点目を決めた駒大はそのまま逃げ切り、2回戦へと駒を進めた。

試合後、優勝を期待する声にキヤプテン鈴木祐はこう言った。「まずは目の前の一試合、一試合頑張っていきたい」と。目の前の試合に強い気持ちをもって臨めば必ずと栄光への道は開かれるはずだ。

(永峰 綾)